

立川総合病院が大臣表彰

長岡の救急医療に貢献



救急医療功労者として厚生労働大臣表彰を受けた立川総合病院の救急外来スタッフら
27日、長岡市旭岡1

い、年間1万人以上の救急患者に対応している。救急外来の専門医はいないが、日替わりの当番医を中心に各診療科の医師が協力している。循環器系の医師が多く在籍し、急性心筋梗塞などの患者を市内外から多く受け入れている。

ドクターヘリの乗務も担う循環器内科の布施公一院長(51)は「病院の特色を生かし、一刻を争う救急患者に対応している」と話す。

新型コロナウイルスが感染拡大し、現場は救急搬送された患者が感染しているかもしれないとの不安も抱える。岡部病院長は「最大限の感染防止を図りながら、今後も頑張りたい」と話している。

喜んでいいる。

20年度は救急医療功労者として、全国の23人と15団体が表彰された。県内では立川総合病院が唯一表彰された。長岡市医師会の推薦を受け3月に決まった。

立川総合病院は、入院治療ができる2次救急を担

長年にわたり地域の救急医療に貢献したとして、長岡市の立川総合病院(旭岡1)が2020年度の厚生労働大臣表彰を受けた。岡部正明病院長(67)は「救急専門医がいなくてもスタッフが努力していることが認められ、誇りに思う」と